

愛川町消防団第二分団 人情火消し

平成26年度
秋号(第11号)

発行 愛川町消防団第二分団
編集 人情火消し編集委員会



一致団結



規律厳正



地域連携

分団長 あいさつ

高峰地区の皆様方には、平素より愛川町消防団第二分団の消防団活動につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

我々第二分団は、四月より六名の新入団員を迎え、新しい力が加わりました。そして新たな体制にて「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、消防団活動をスタートさせております。

近年では、局地的な豪雨、台風および土砂災害など自然災害が猛威をふるっております。私たち消防団はこのような災害と向き合わなくてはなりません。自然が持つ大きな破壊力の前では、我々は非常に非力でありますが、地域の皆様方の安全確保、自分自身の安全を確保して被害を最小限に抑えるべく、災害に対する訓練は勿論のこと、消防団員一人一人が日頃より災害に対する意識を持って活動しております。

また、災害時には我々消防団員だけの力は限界があります。高峰地区の皆様方と一緒に防災に対する意識を深め、突然襲ってくる災害に備えてまいりたいと考えております。

このような消防団活動に従事することができずのは、消防団員のご家族の方々の支えがあってこそであると考えます。心より感謝を申し上げます。

今後とも、地域防災リーダーとして高峰地区の皆様方と更なる連携を図り、災害に立ち向かえる体制の構築を目指して、消防団活動に従事してまいります。引き続き、消防団に対するご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

愛川町消防団第二分団

分団長 有賀純一郎

副分団長 飯田裕二

第二分団第一部（三増区）



小中 雄太
団員



平本 伸吾
団員

新入団員から一言

コメント

諸先輩方と共に一生懸命頑張ります。

地域に恩返しできるように頑張ります。

皆さんこんにちは。三増区を管轄する第二分団第一部です。高峰地区の皆さんには、日ごろから消防団活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、本年度、第二分団第一部には3名の新入団員が入団いたしましたので、ご報告させていただきます。

新たな仲間と一緒に三増区民の皆様に貢献できるよう、消防団活動に励んでまいりますので、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



平成二十六年度の主な活動



平本 敏憲
団員

地元地域に貢献できるよう頑張ります。

四月 性能検査
五月 ごみゼロ・クリーンキャンペーン
六月 水利点検
七月 八坂神社祭り・神輿警戒、育成会盆踊り警戒
八月 三増区総合防災訓練参加
九月 新入団員研修・合同訓練、諏訪神社祭り警戒
十月 三増合戦祭り警戒、消火栓及び水利点検
十一月 秋の火災予防運動、峰っ子フェスティバル参加
十二月 歳末火災特別警戒
一月 消防出初式、どんど焼き警戒
二月 消火栓及び水利点検、消火器点検
三月 春の火災予防運動、団員研修

新入団員募集

現在、第二分団第一部では我々と共に活動していただける団員を募集しております。

三増区内にバランスよく団員を配置することで、火災等における初期体制の拡充を図りたいと考えておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

第二分団第二部（小沢区）



愛川町消防団
第二分団第二部
Aikawa Town
Volunteer Fire Corps
II

皆様こんにちは。小沢区を管轄している第二分団第二部です。

地域の皆様には日ごろから消防団活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今期は新たに入団した三名の新入団員から消防団に対する想いなどについて語ってもらいました。

新入団員の紹介

薄 直宏（すずき なおひろ）

私は所帯を持ったことを機に消防団に入団しました。

中学校に入学してからは徐々に地域と疎遠になっていたので、消防団として地域の行事などに参加することがとても新鮮でした。

しかし、地域に根付いている若い世代が少ないという現状も知りまして。

私は消防団として地域の方々を災害から守ることはもちろんですが、消防団の活動を通して将来を担う若い世代にとって良い刺激を与えられるよう頑張っていきたいと思います。

樋川 暁（ひかわ あかつき）

今年度より第二分団第二部に入団いたしました。

先般行われた防災訓練では、多くの地域の方が参加されており、地域の防災意識の高さに、驚きと

消防団の活動に対するやりがいを感じました。

まだ団員となってから日は浅いですが、地域の安全に少しでも役立てるよう、日々の活動を頑張りたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

熊澤 貴昭（くまざわ たかあき）

私は今年度から入団しましたが、以前から消防団の活動に興味を持っていました。その中で勧誘を受け、消防団に入団しました。

初めてのことはばかりで、何をしたら良いか、どう動けば良いか不安でしたが、先輩方のご指導のもと様々な経験をしながら、学んでいます。

消防団に入団して良かった事は、新しい仲間が増えたこと、地域の交流が増えたことです。活動の中で、他の消防団員との交流もあり、新しいつながりができました。

また、消防団員として責任感とやりがいを感じています。有事に備え、日ごろの訓練を大切に、地域の安全に貢献できるよう日々精進していきたいと思っています。



新入団員の3名
左から薄団員・樋川団員・熊澤団員

第二分団第三部（箕輪区）



皆様こんにちは。箕輪区を管轄しています第二分団第三部です。

日ごろより、箕輪区の皆様におかれましては消防団活動へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

これからも地域と密着した活動を展開していきたいと考えておりますのでよろしく願っています。

新入団員紹介

諏訪部 智（すわべ さとし）

入団前は、火災等の有事の出勤以外にどのような活動をしているかわかりませんでした。平成二十六年四月に入団してからは、地域の行事、防犯活動等の様々な範囲で活躍していることを知りました。

これから、地域に貢献出来るように努めてまいりますので、よろしく願っています。

水利点検

六月、管轄の水利点検を実施しました。いざ有事というときに少しでも早く消火活動に入るためには欠かせない活動です。



箕輪区盆踊り

八月、下箕輪農村公園で盆踊りが開催されました。出店や打ち上げ花火の警戒等を通じて、地域の方々の交流が深まったと思います。



団員構成

現体制の団員構成を紹介させていただきます。

部長	馬場貴文	（幣山）
副部長	竹松圭二	（下箕輪）
班長	小関佑	（睦台）
班長	馬場晃	（幣山）
班長	山瀬豊	（睦台）
班長	土門巨幸	（睦台）
班長	小針知央	（原箕輪）
班長	ガニク西山リカ	（原箕輪）
団員	原健太郎	（原箕輪）
団員	諏訪部剛	（原箕輪）
団員	馬場将和	（原箕輪）
団員	諏訪部陽輔	（下箕輪）
団員	諏訪部智	（原箕輪）

地域の皆さんが安全・安心に生活できるように努めてまいります。



第二分団第四部（角田区）



皆様こんにちは。角田区を管轄している第二分団第四部です。

角田区の皆様には日ごろから消防団活動へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今回は、角田区の戸倉地区と海底地区で行われました「土砂災害訓練」をご紹介します。

土砂災害訓練

六月八日に戸倉地区、海底地区の住民の方々を対象とした土砂災害訓練が行われました。

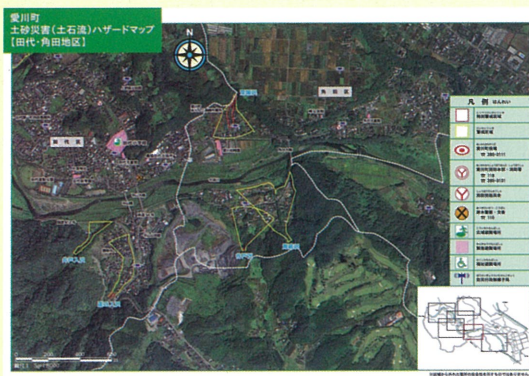
この訓練は戸倉地区、海底地区の一部の地域が土砂災害警戒区域の指定を受けたことから、実際に避難所となる田代小学校に避難をする訓練です。

当日は角田区、消防署、愛川町社会福祉協議会と合同で訓練が行われ、その内容は、大雨による避難勧告が発令された想定で、区の担当の方と消防署員、消防団員が該当地域の家を戸別訪問し、地図で確認をした上で、避難所に設置されている災害対策本部に戻り、状況を報告するというものでした。（実際に避難勧告が発令された場合は戸別訪問をした際、「声掛け」を行って避難を促し、地域の皆様と協力しながら避難所に避難をしていきます。）

今回の土砂災害訓練は初めて実施されたもので、万が一、避難勧告が発令された場合の流れなどが体験でき、とても勉強になりました。

この訓練を通して課題なども見つかりましたので、今後の訓練はこの

経験を活かしていきながら、実際に避難勧告が発令されたときは、地域の皆様と協力して、迅速に対応できるように努めていきたいと考えております。



角田区土砂災害ハザードマップ



前消防団長および

新副団長のあいさつ

愛川町消防団長であられた小川成人さんが三月三十一日をもって勇退され、新たに消防団長に鈴木慎三さん、副団長に高橋篤史さんが就任されました。



小川 成人
前団長

退任のあいさつ

今年の三月三十一日をもって愛川町消防団長を退任いたしました。

昭和五十二年四月に消防団員を拝命以来三十七年間消防団活動に従事し、平成二十四年四月には愛川町消防団長の重責を担わせていただき、町消防本部をはじめとした消防団に関わる全ての方々の多大なるご協力のもと、大過なく無事退任することができましたことに厚くお礼申しあげます。

さて、消防団生活を振り返ると、消防団で学んだことは少なくなかったと感じております。消防団は、年代も職業も違う社会人の集団です。そういう人間が地域を守るため

に組織を構成しております。消防団に在籍したおかげで地域の方々と一緒にすることができました。その人たちは私の財産です。お互いの仕事を知り、違う世代の考え方を聞け、ビジネスだけでは学べない社会勉強をさせてもらいました。

消防団とは、多くの良き友にめぐり合うことができる場所であり、他には経験の出来ない人づくりの場と思っています。同じ目的で集まった者同士の思いは、かけがいのない物です。

今後は一町民として、また「愛川町消防支援隊」の一員として消防団生活で学び得た郷土愛護と社会奉仕の精神を忘れることなく、住みよい町の発展と消防の発展を見守ってゆきたいと存じます。

終わりに団員をはじめ、高峰地区の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。退任のあいさついたします。



高橋 篤史
副団長

就任のあいさつ

平成二十六年四月一日より愛川町消防団副団長に就任い

たしました、高橋篤史（たかしあつし）です。

高峰地区の皆様には平素より消防団活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、東日本大震災の発生から既に三年以上が経ち、本町では現在まで幸いにも大きな災害もなく月日が過ぎておりますが、近未来において発生が危惧されている南海トラフ巨大地震や異常気象による集中豪雨等の自然災害への脅威が高まっております。

消防団のモットーである

「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、今後予想されるこのような有事をはじめ、日常起こる災害に対し迅速に行動できるように有意義な訓練を継続し、技術と知識の向上を図り、町民の生命と財産を守っていただける体制を整えてまいりたいと思います。

時代が変わるにつれ団員数の確保が困難となっている昨今ではありますが、我々がこうして消防団活動に取り組めるのも家族の皆様や職場の皆様のご理解のおかげだと心より感謝いたします。これから地域に密着しながら町民皆様に信頼される消防団となるよう活動を展開していきたいと思っておりますので、今後も変わらぬご支援のほど、お願い申し上げます。

編集後記

このところ、異常気象による大雨や御嶽山の噴火など、予想もしていなかったような自然災害が多発化しています。本町では幸いにも今まで大きな被害がでていませんが、いつ起こるかわからないのが災害です。

残念ながら私たち人間の持っている力には限界があります。また、当然のことながら、地震や台風などの災害を未然に防ぐ術



新入団員募集中です！

安全・安心な高峰地区を目指して！

あー今の広域時に

目を止めてしまったキミ

第二分団では、現在一緒に活動してくれる団員を募集しています。

「自分たちの地域は自分たちで守る！」という趣旨に賛同いただける方、消防団活動やボランティア活動に少しでも興味のある方、この地域に生活し愛着があれば、年齢や職業または出身が違ったとしても問題ないです！たくさんの方々が一緒にあって、町の安全・安心のために活動しています。

消防団は、火災時はもちろん、今後心配される大規模な地震や、大雨などによる土砂災害など同時に各地で災害がおきた場合に非常に重要な役割を果たします。

「私たちは本当にキミの入団を待っています！」



愛川町消防本部
にまずは電話し
てみよう。
285・3131

